



「外務大臣賞」受賞から未来へ向けて

この度は、アートマイル国際協働学習プログラム外務大臣賞を受賞することができ、非常に光栄です。まず始めに、この素晴らしいプロジェクトを実現するため、尽力してくださった方々に感謝したいです。共に探究したゼミの仲間はもちろん、相手校となってくれたインドネシアの学生の皆さん、探究の時間と環境を整え、国際協働学習という貴重な経験を与えてくださった先生方、このプロジェクトにご協力いただいた関係者の方にも深く感謝いたします。

私たちは、「安全な水」「産業と技術革新」をテーマに掲げ、話し合いを行いました。しかし、解決策を模索すればするほど地域格差や政策の進行が異なり、国や地域を超え連携して取り組む必要があると実感しました。それでも自分たちができることを最後まで考え出し、その象徴となるのがこの壁画です。そして私たちがこのプロジェクトを通して得ることができたのは単に学問の知識だけではありません。異なる文化背景や価値観を持つ仲間との交流は、違った新しい視点や着想の源となり、互いの国のリアルを伝え合うことでグローバルな感覚を培うことができました。

また、壁画の完成が近づくにつれて、互いの距離はどんどん縮まり、それぞれの広がりや関係が深く密接になったように感じます。このように、違う文化と背景を持った人々と共にアートを創造し、協力しながらプロジェクトを進める経験により、世界の広がりを感じ、一生の財産となりました。この先、グローバル化が進む社会で、ここで得たスキルやマインドセットを行かして行けたらと思います。

最後に、私たちはこのアートマイル活動がもっと広がって欲しいと思います。中には「国際交流の経験がない」「絵を描くのが苦手だ」「アートが分からない」という人もいます。しかし、アートマイルは絵を描くだけの活動ではありません。一枚の絵を描くため世界の同世代とつながる、アートを通して言語の壁を越え、感情や思いを表現し合う場です。きっと貴重な経験になると思います。国際交流の原動力はつながり。まずはそこから始めてみてください。今日はありがとうございました。

28 回生 永須 優杜